

2026年卒

5月1日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリタス就活 学生モニター2026 調査結果 (2025年5月発行)

企業の採用広報解禁から2ヵ月。2026年卒学生の就職活動はどのように進んでいるだろうか。5月1日現在のキャリタス就活・学生モニターの就職活動状況について調査を行ったところ、前年に引き続き内定率は7割を大きく超えていることがわかった。

内定状況のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 5月1日時点の内定^(※)状況

- 内定率は76.2%。前年同期実績(76.9%)と同水準
- 就職活動終了者は全体の45.0%。継続者は「内定あり」「内定なし」を合わせて55.0%

2. エントリー状況、選考試験受験状況

- 一人あたりのエントリー社数の平均は23.4社。前年同期調査(23.9社)をやや下回る
- ES提出社数も前年を下回る(平均12.2社→10.8社)。筆記試験、面接社数も減少

3. 未内定学生の見通し

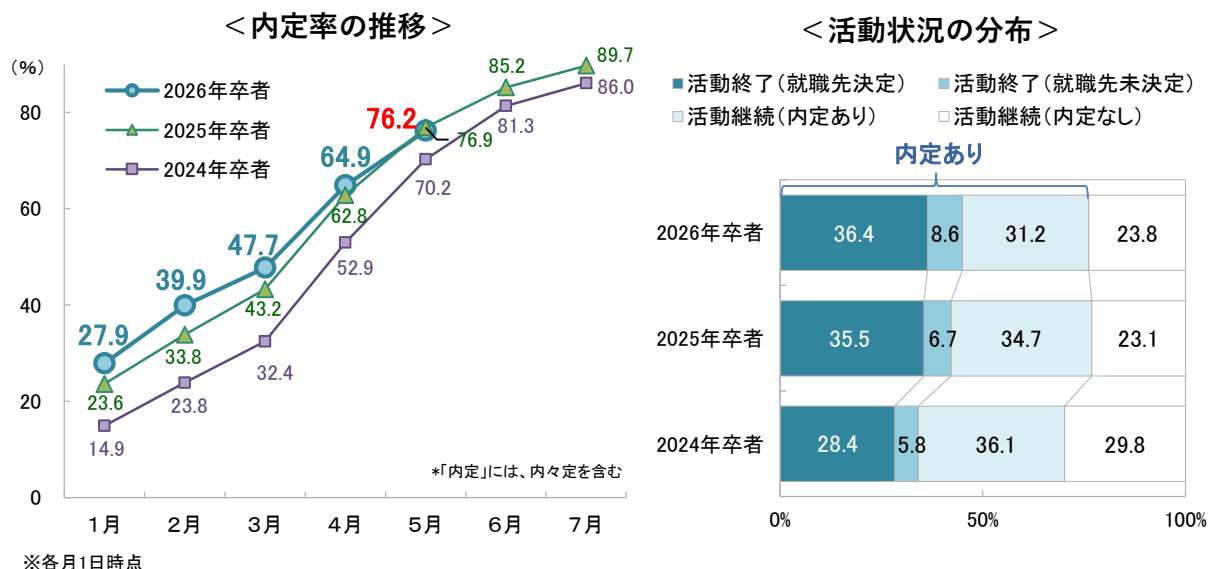
- 「内定獲得の見通しが立っている」12.2%。未内定者の大半はこれから

※「内定」には、内々定を含む

1. 5月1日時点の内定状況

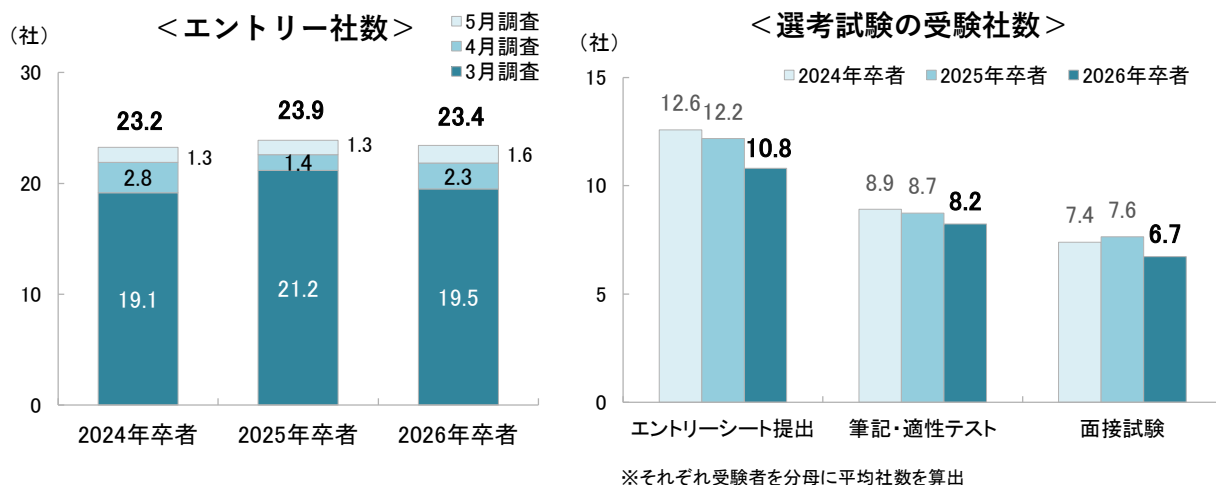
5月1日の調査時点で内定を得ている学生はモニター全体の76.2%。前年同様7割台後半に達し、高水準をマークした。今期は、広報解禁前の2月調査で内定率が約4割を記録するなど(39.9%)、早期化の傾向が顕著。ただし3月以降、前年同月との差は徐々に縮まり、5月時点で前年(76.9%)と同水準となった。

調査時点で就職先を決定して活動を終了した者の割合はモニター全体の36.4%。活動を終了したもの、複数内定保留など未決定である者は8.6%。内定率はやや下がったが、活動終了者の割合は前年より増えた(計42.2%→45.0%)。活動継続者は「内定あり」(31.2%)、「内定なし」(23.8%)を合わせて55.0%。



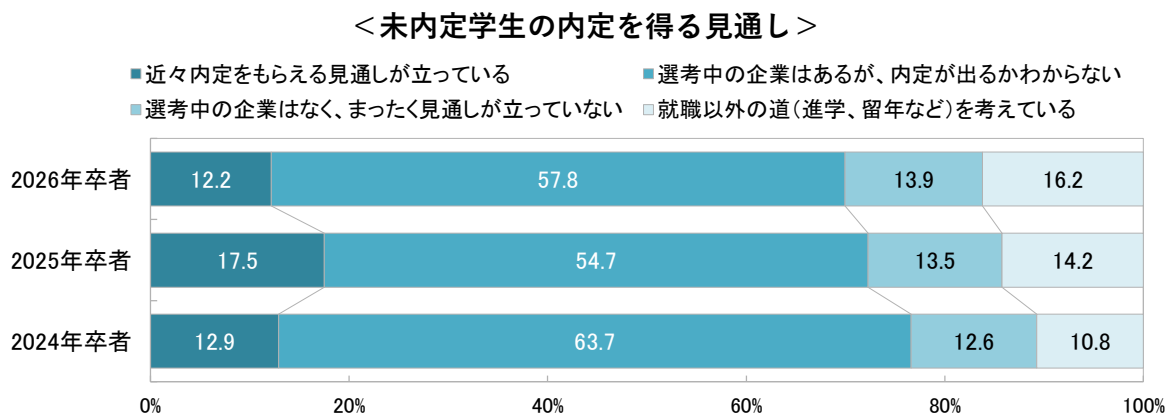
2. エントリー状況、選考試験受験状況

一人あたりのエントリー社数の平均は 23.4 社。この 1 カ月での増え幅は 1.6 社で、4 月調査に引き続き前年同期実績を下回った。ES 提出社数や筆記試験なども減少しており、本選考を受ける企業を絞り込む様子が見て取れる。面接の受験社数も前年同期を下回った（7.6 社→6.7 社）。



3. 未内定者の見通し

調査時点で内定を得ていない学生（全体の 23.8%）に、内定獲得の見通しを尋ねた。「近々内定をもらえる見通しが立っている」は 1 割程度にとどまり（12.2%）、よい感触を得ている学生の割合は前年（17.5%）を下回る。最も多いのは「選考中の企業はあるが、内定が出るかわからない」（57.8%）。ここに「選考中の企業はなく、まったく見通しが立っていない」（13.9%）を足し合わせると 71.7% になり、未内定者の 7 割はまだこれからといった状況だ。



調査概要

調査対象：2026 年 3 月に卒業予定の大学 4 年生（理系は大学院修士課程 2 年生含む）
 回答者数：1,035 人（文系男子 209 人、文系女子 459 人、理系男子 227 人、理系女子 140 人）
 調査方法：インターネット調査法
 調査期間：2025 年 5 月 1 日～7 日
 サンプルング：キャリアス就活 学生モニター2026
 調査実施：株式会社キャリアス／キャリアスリサーチ